

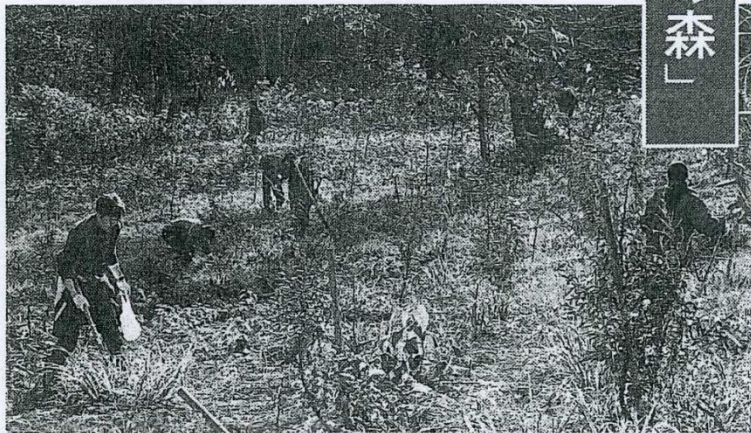
## 冬を前に下刈り作業

### 第一貨物「創生の森」

第一貨物（本社・山形市、武藤幸規社長）は八日、山形県山辺町にある「創生の森」でブナの苗木が冬を無事に越せるよう、下刈り作業を行った。同社社員はじめグループの太平興業、山形三菱自動車販売から合計二十八人が参加。天候にも恵まれほかほか陽気の下、作業に励んだ。

創生の森は、山辺町の国有林内一万三千五百平方メートルの土地に平成二十二年秋、ブナの苗木三千本

## ブナの苗木、育ちますように



降雪期を控え枝折れを防ぐため雑草を刈り、肥料をまいた

笑みをこぼしていた。

環境への意識

さらに高めて

った苗木は十二月から春の大型連休大人の背丈まで半年近く雪に閉ざさるほどに育つ。いまは枯れ葉が付いた枝に、雪解けになる

この日はと一斉に若葉が芽吹く。

朝から快晴。スタツ木は順調という。フらはスス

キなど雑草食は、地元で採れたきの

り取り、丈のこ汗とおにぎり。普段の低い苗木事務作業をこなすスタツ

に肥料を与フはもちろん、自動車整

を植林。以来、地元森林えた。中には、汗をかき

組合の協力を得ながら管上着を脱ぐ人の姿もあっ

理。四年前、約五十坪だった。標高七百坪の土地は

（矢田 健一郎）

「社会と共生し続ける企

球環境への意識を一層高

めてもらおうのが目的。

排出している物流企業と

省燃費運転やエコ

カー導入を通じたCO<sub>2</sub>

削減に加え、森づくり

に携わることによって

従業員

の地

球環境への意識を一層高

めてもらおうのが目的。

排出している物流企業と

省燃費運転やエコ

カー導入を通じたCO<sub>2</sub>

削減に加え、森づくり

に携わることによって

従業員

の地

球環境への意識を一層高

めてもらおうのが目的。

排出している物流企業と

省燃費運転やエコ

カー導入を通じたCO<sub>2</sub>

削減に加え、森づくり